

日帰り人間ドック検査項目一覧表

公立小野町地方総合病院

検査項目	検査内容	目的やわかること
問診	健康調査、生活習慣 病歴、家族歴など	日常生活や健康状態をチェックします。
診察	胸部聴診、腹部触診	呼吸音の聴取と異常心音の確認をします。
身体計測	身長、体重、BMI	やせすぎや太りすぎをチェックします。
メタボリック シンドローム 検査	血圧測定、腹囲径測定	メタボリックシンドロームとは肥満（腹部内臓肥満）に、高脂血症、高血圧、高血糖が合併してくる病気です。腹囲径測定で肥満（腹腔内脂肪蓄積）状態を調べ、さらに血液検査、血圧、血糖検査の結果を基にメタボリックシンドロームの傾向を調べます。
眼科	視力測定	近視や眼の疾患の有無を調べます。
	眼圧測定	緑内障等の眼の疾患の有無を調べます。
	眼底検査	目の病気のほか、高血圧、動脈硬化、糖尿病による病変がないかを調べます。
聴力	聴力検査（1000Hz、4000Hz）	聴力のおとろえなどを調べます。
尿検査	糖、蛋白、潜血、 比重ウロビリノーゲン	尿中の成分を見ます。糖は糖尿病発見の手がかりとなります。蛋白は、腎臓病発見の手がかりとなります。
便検査	便潜血反応検査（2日法）	便に血が混じっている場合、腸から肛門までの出血が疑われます。大腸がんなどの可能性を調べます。
免疫検査	HBs抗原	B型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査です。
	HCV抗体	C型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査です。
	HCV抗原（平田村のみ）	
	梅毒検査（RPR、TP抗体）	梅毒に感染しているかを調べる検査です。
	RF	関節リウマチの有無を診断するための検査です。
	CRP	体内の炎症の有無を診断するための検査です。
代謝系	血糖	糖尿病を診断する手がかりとなります。ヘモグロビンA1Cは約2カ月間前の血糖の状態を示すもので、糖尿病の病態管理に広く用いられています。
	ヘモグロビンA1C	
腎機能	尿素窒素	腎臓の排泄機能を調べます。
	クレアチニン	
	eGFR	
	尿酸	血液中に尿酸が増えると動脈硬化や痛風を起こしやすくなります。
脂質検査	総コレステロール	血液中の総コレステロール、中性脂肪が多いと動脈硬化の原因となります。動脈硬化は、心筋梗塞や脳血管障害を引き起こします。HDLコレステロールは善玉のコレステロールで動脈硬化の予防をする働きがあります。LDLコレステロールは悪玉コレステロールで、たんぱく質と脂質が結びついたものです。動脈硬化などを引き起こす作用が強いものです。
	HDLコレステロール	
	non-HDLコレステロール	
	LDLコレステロール	
	中性脂肪	

血液一般検査	赤血球数	貧血の有無、炎症や免疫低下の有無、出血の傾向、止血力、各種血球の割合などを調べます。
	白血球数	
	ヘモグロビン（血色素量）	
	ヘマトクリット	
	MCV	
	MCH	
	MCHC	
	血小板数	
	白血球分画（平田村のみ）	
肝機能検査	AST（GOT）	肝臓の合成・代謝機能のほか、胆汁の流出障害など、肝、胆、膵の機能をチェックします。
	ALT（GPT）	
	γ-GT（γ-GTP）	
	ALP	
	総蛋白	
	アルブミン	
	LDH	
	総ビリルビン	
	コリンエステラーゼ	
	血清アミラーゼ	
腫瘍マーカー検査	AFP	肝細胞がん等を発見するための血液検査です。
	CEA	各消化器がん、肺がん、甲状腺がん等を発見するための血液検査です。
	PSA（男性のみ）	前立腺がんを発見するための血液検査です。
胸部X線		肺や心臓の形態や病変を見ます。
心電図	安静時	心電図から不整脈や心疾患などを読みとります。
肺機能	肺活量、%肺活量、1秒量、1秒率の測定	肺の換気能力を調べ、肺繊維症、慢性気管支炎などを診断する手がかりとなります。
胃部内視鏡		食道・胃・十二指腸の異常がないかを調べます。
腹部超音波		肝臓・胆のう・腎臓などの異常がないかを調べます。
心エコー検査		虚血性心疾患や不整脈などの心疾患を発見するための検査です。
乳がん検診	マンモグラフィ（女性のみ）	乳がんの有無を調べます。
子宮がん検診	細胞診（女性のみ）、内診	子宮頸がんの有無を調べます。
脳ドック	頭部MRI・MRA検査（平田村及び希望者のみ）	脳梗塞や脳出血、脳腫瘍などの病変を調べます。

※厚生労働省第157号第1条に定める健診（特定健康診査）項目を満たしているものである。